TOYO KITCHEN

BAY's BAY

据付工事説明書

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

●表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、
次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は**「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」**内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⊘	この図記号は、してはいけない**「禁止」**内容です。
❗	このような図記号は、必ず実行していただく**「強制」**内容です。

●据付工事完了後、説明書の内容に従って試運転および各部の点検を行い、
異常の無いことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

⚠ 警告

ステンレス製ワークトップやステンレスフードを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。

❗

切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。

❗

火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

ペルチェシステム、液晶シャッターの操作スイッチ部や機器内部に水をかけないでください。

⊘

電気部品に水が進入し、感電することがあります。

ペルチェシステム、液晶シャッターには、１５Ａ以上のコンセントを単独で使用してください。

❗

他の器具と併用すると分岐コンセント部が、異常発熱して発火することがあります。

交流１００Ｖ以外では、使用しないでください。

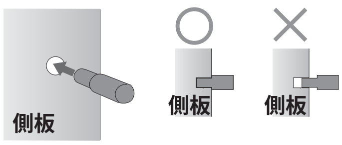
火災、感電の原因になります。

ペルチェシステムは、アースを確実にとってください。

取付けないで使用すると、故障や漏電の時に感電する恐れがあります。

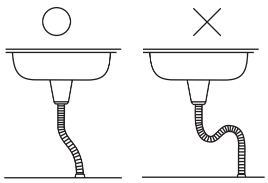
⚠ 注意

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。

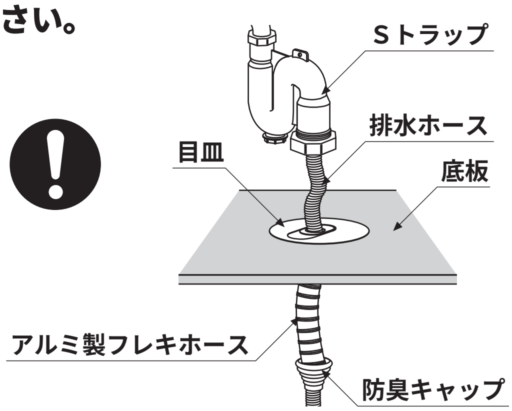


排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

排水器具・排水ホースは、確実に取付けてください。



水が漏れたり、湿気が上がり床等が腐る恐れがあります。

ハンドルを持ってユニットを持ち上げたり、無理な力を加えないでください。

破損やケガの原因になります。

工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。

使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

据付け前の確認

①・注文した製品が納入されているか、確認してください。

②・配管・配線の確認

・施工図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。

・天井吊りにする場合は、天井の強度を確認してください。

・壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。

据付工事作業手順

①・フロアユニットをセットする。
・水平をみながら、アジャスターの調整を行う。

②・加熱機器をセットし、固定する。

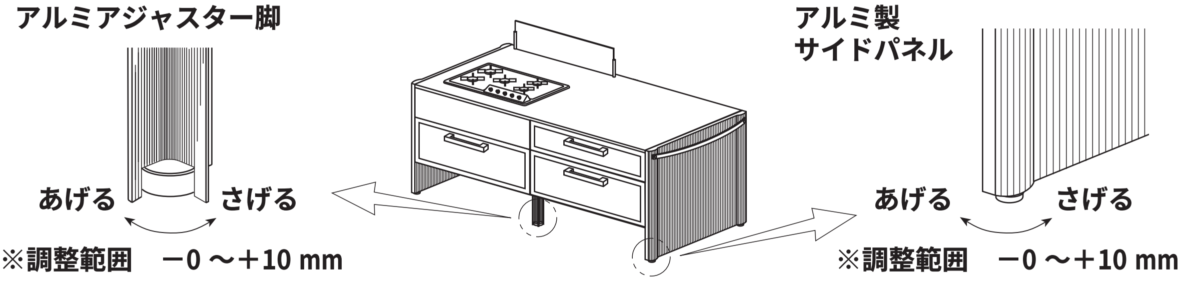
③・給水栓および、配管ボックスの取付けを行う。

④・扉を取付け後、扉（丁番）および引出し前板の調整を行う。

⑤・据付け後の点検・清掃

アジャスターの調整方法

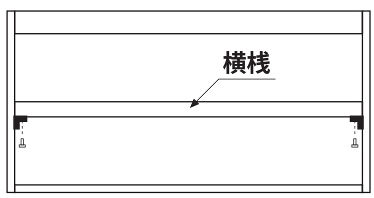
手を使いユニットの高さや水平を調整してください。



配管前の準備

横桟の取り外し

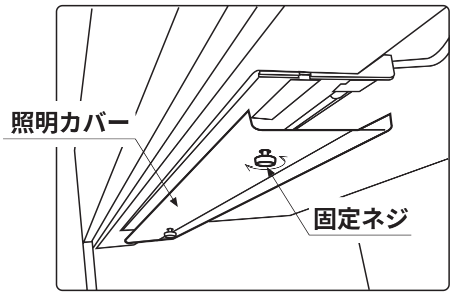
・排水管の配管を行う前に、作業しやすくするために、横桟を取り外してください。
（下方からネジ止めしてあります。）
・作業が終了したら、横残を取付けてください。



液晶シャッター／蛍光灯付横桟の取り外し方

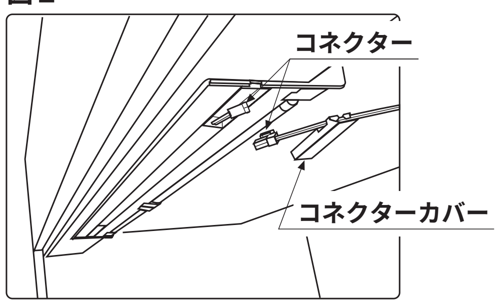
1　照明カバーを固定している固定ネジを外し、照明カバーを取り外してください。（図１）

図１



2　コネクターカバーをマイナスドライバー等で取り外してください。（図２）

図２



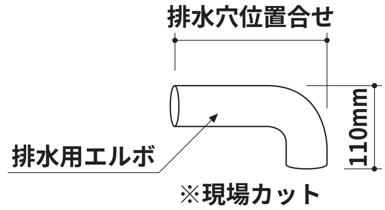
3　コネクターを外し、横桟を取り外してください。

※　**取付けは上記の「取り外し方」と逆の手順で行ってください。**

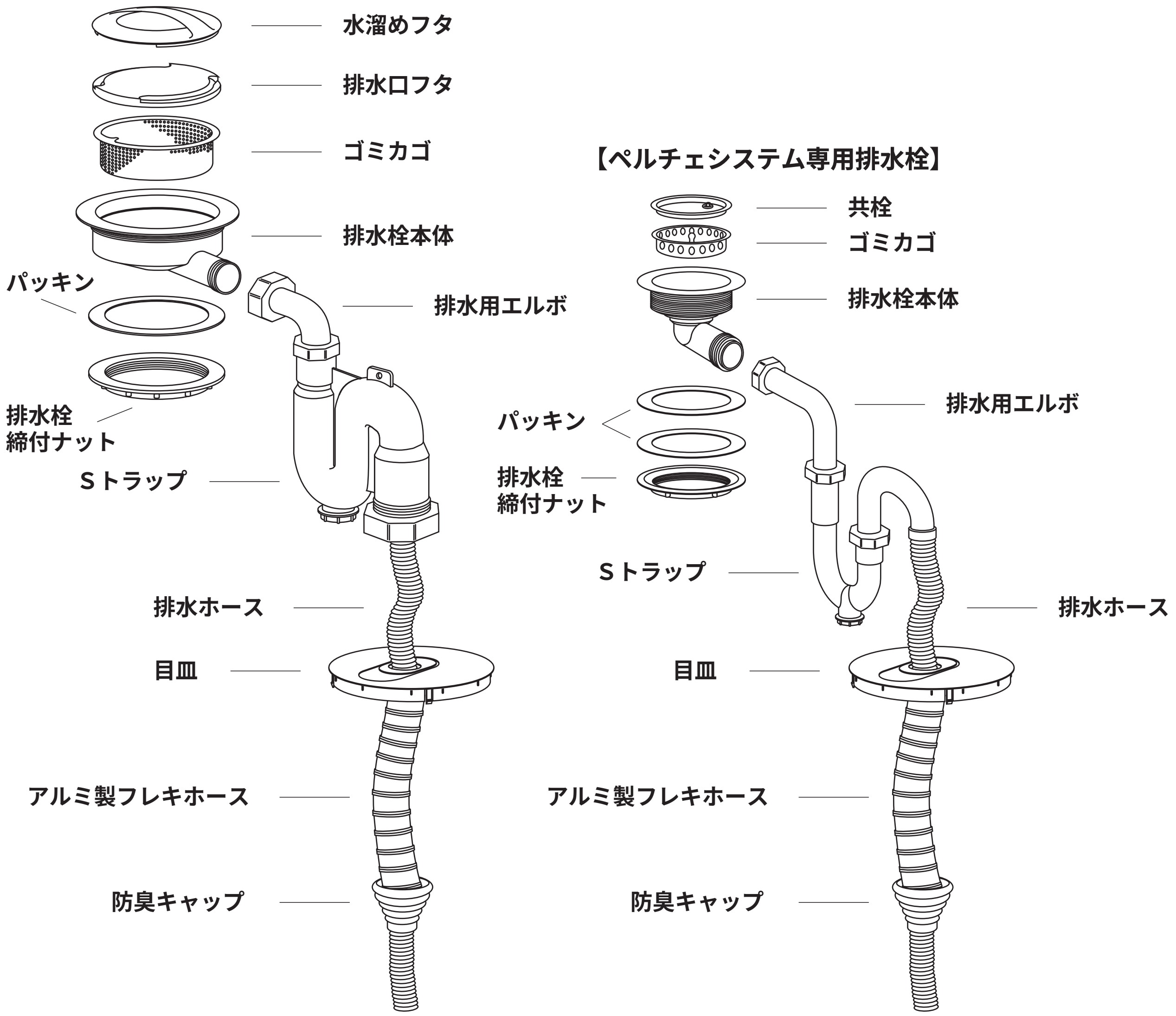
排水管の配管

排水用エルボの加工

・排水用エルボの長さを、ユニットの排水穴のセンターに合わせてカットしてください。
・排水用エルボの高さ寸法を、H= １１０ mm にカットしてください。

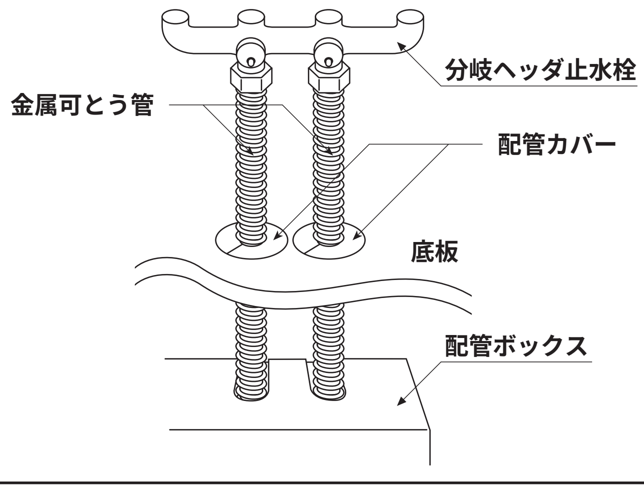


【排水栓】



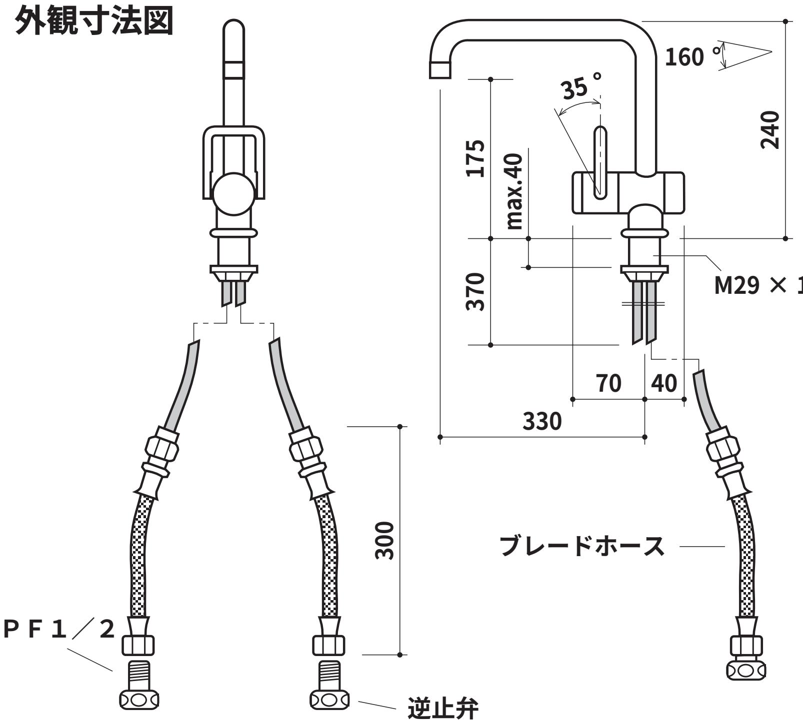
配管カバーの取付け

シンクユニットの底板に開いている穴から、給水・給湯管の取り出しを行い、分岐ヘッダ止水栓に接続後、配管カバーの接着テープをはがして配管と底板の隙間をふさぐように貼り付けてください。



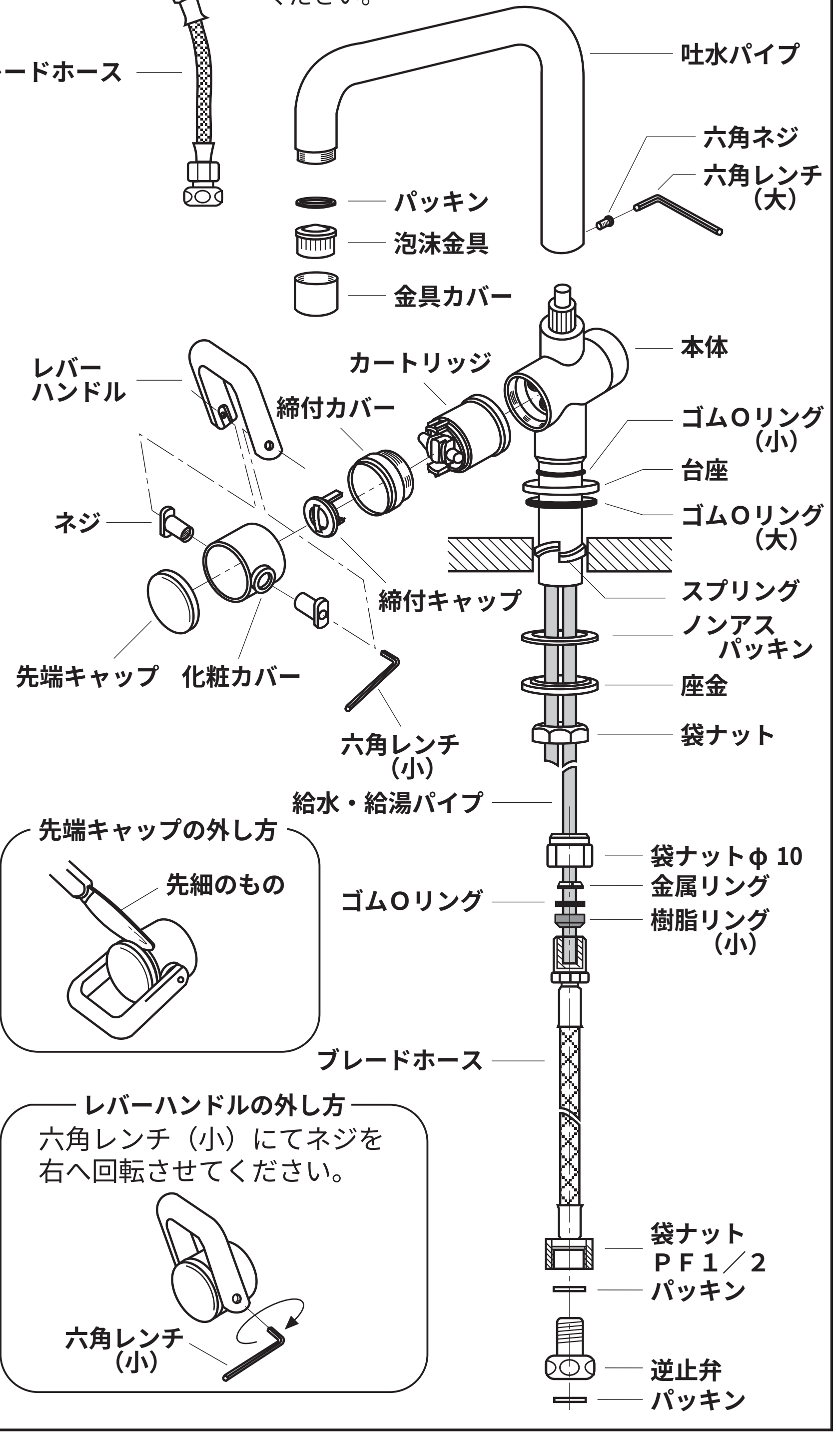
シングルレバー混合水栓（A89532S）

外観寸法図



分解図

万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。



（1）水栓の組立て

<組立付属品>

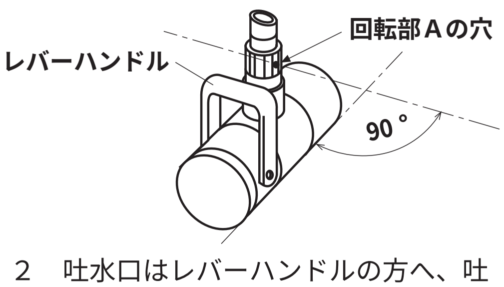
六角レンチ（大）



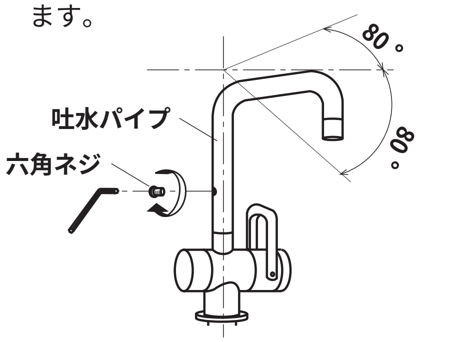
六角レンチ（小）



1　本体の回転部Ａの穴を本体と垂直になるように設定します。



2　吐水口はレバーハンドルの方へ、吐水パイプの六角ネジ固定部が背部へくるように、吐水パイプを回転部へ接続し、六角レンチ（大）で固定します。



注意：組立後に吐水パイプがレバーハンドルを中心に左右均等に８０度の回転が滑らかにできることを確認してください。

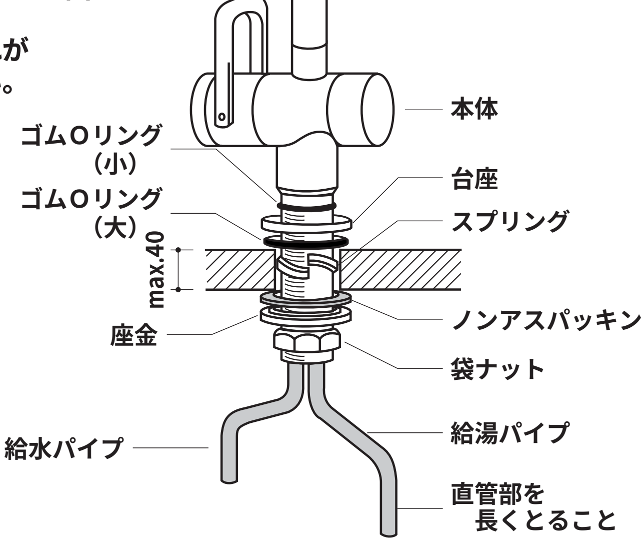
水栓の取付け（シングルレバー混合水栓）２

■取付け順に従って確実に取付けてください。
■この水栓はブレードホースを必ず使用して取付けます。
■取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水漏れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。

（２）水栓本体の取付け（図１）

・ 水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。また給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。
・ スプリングは水栓を中心に固定するためのプラスチック部品です。これはシンクが斜面になっている場合でも、水栓を垂直に取付けることを可能にする部品です。

図１



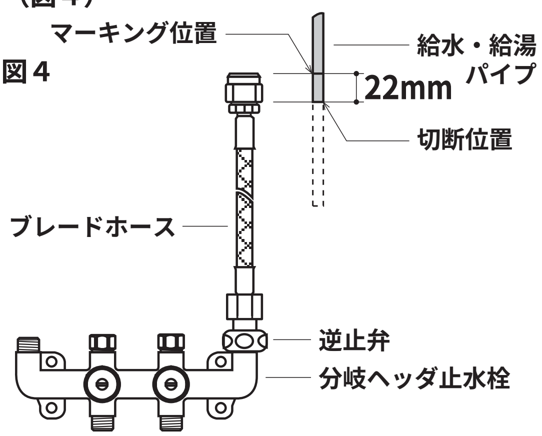
（３）ブレードホースの取付け

シングルレバー混合水栓（A89532S）・
メタルホース付シングルレバー混合水栓
（A89673S）共通

1 給水・給湯パイプの長さを調整します。
逆止弁を分岐ヘッダ止水栓に仮固定し、そこへブレードホースを取付け、給水・給湯パイプの必要長さを測り切断します。（図２・３）
（給水・給湯パイプは長めに設定してありますので、施工現場に合わせて必要な長さに切断してください。）

※ **ブレードホースへの差込代を約 22mm 確保し、22mm の位置にマーキングしてください。（図４）**

図４

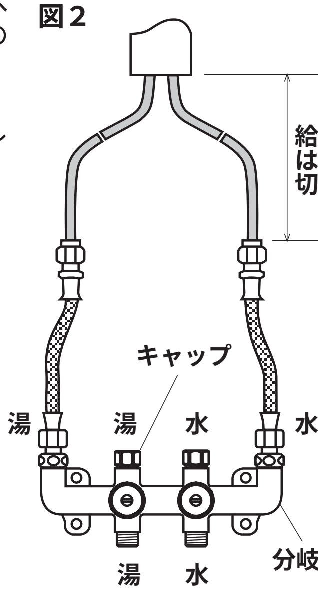


2 ブレードホースに図５の順に入れ、逆止弁に差し込みます。次に逆止弁を分岐ヘッダ止水栓にねじ込み、水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプを先ほどマーキングした 22mm の位置まで逆止弁にしっかりと押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。（図５・６）
3 最後に分岐ヘッダ止水栓を開いて、各部から水漏れが無いことを確認してください。

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、<u>給水・給湯パイプとブレードホースの接続部分（袋ナット）が確実に締まっているか確認してください。</u>また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。
水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

水栓１本使用の場合の取付け

図２



水栓２本使用の場合の取付け

図３

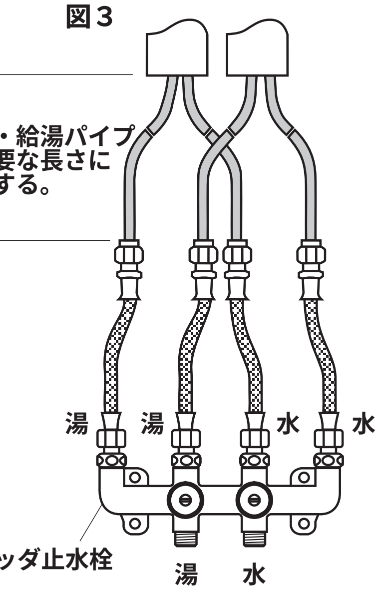


図５

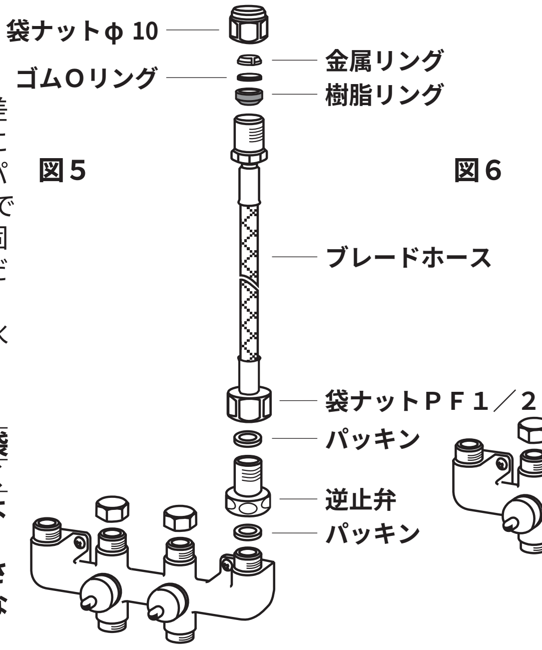
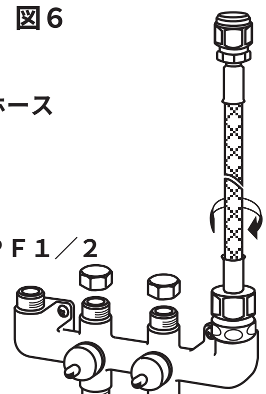


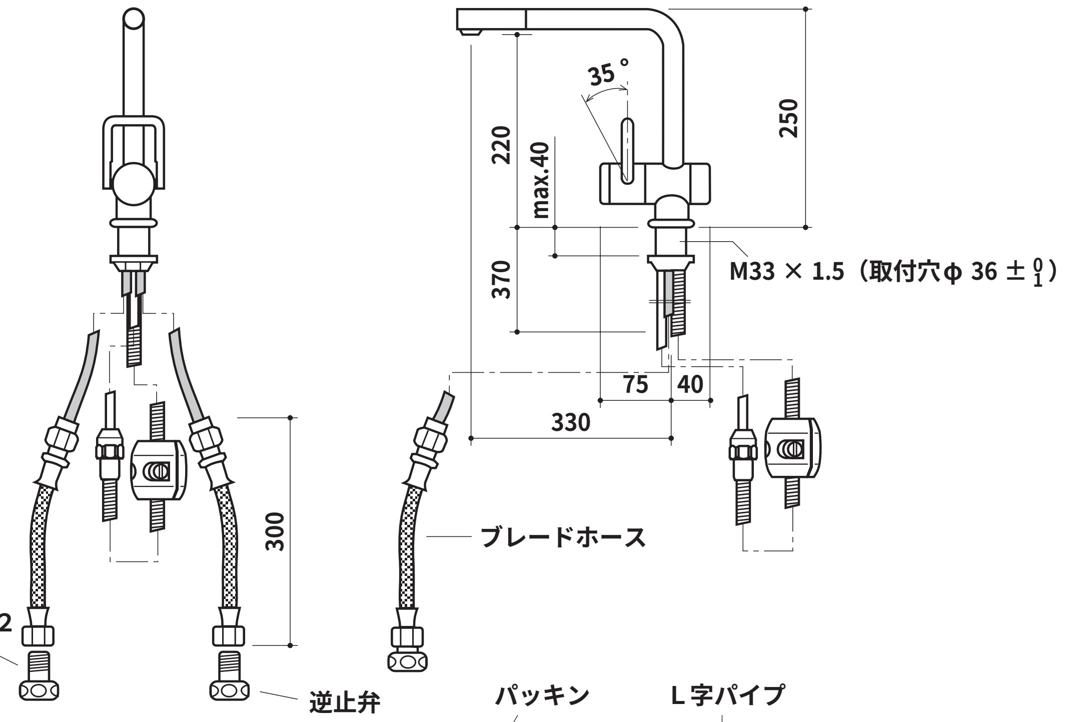
図６



水栓の取付け（メタルホース付シングルレバー混合水栓）３

メタルホース付シングルレバー混合水栓（A89673S）

外観寸法図



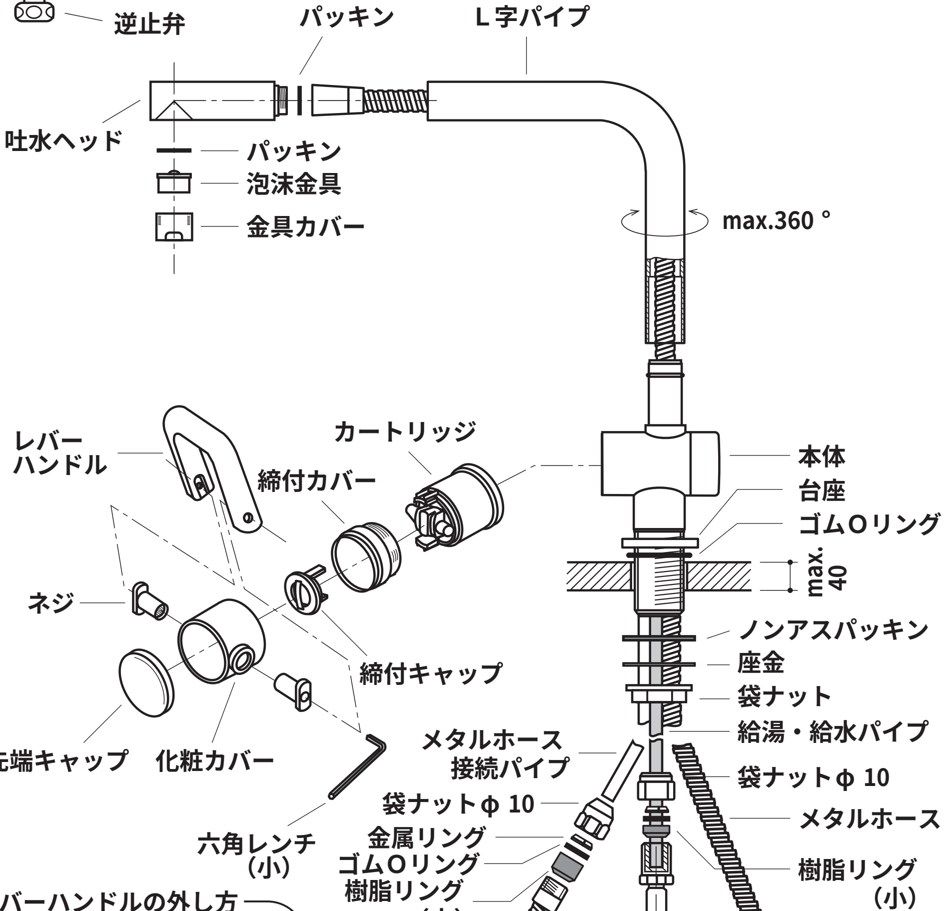
分解図

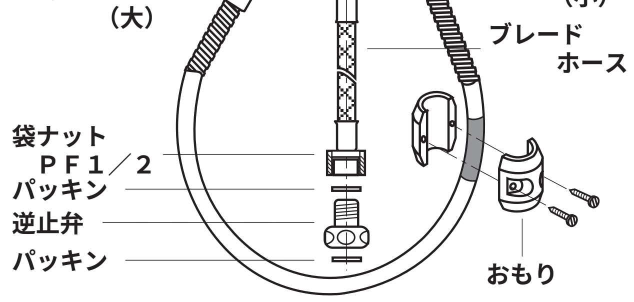
万一故障等で分解する時は、右記の要領で行ってください。

<組立付属品>

六角レンチ（小）

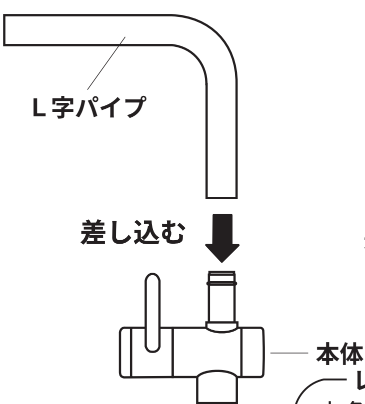




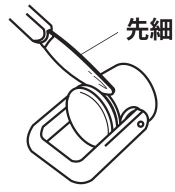


（1）水栓の組立て

Ｌ字パイプを、本体へしっかりと差し込みます。



先端キャップの外し方



レバーハンドルの外し方

六角レンチ（小）にてネジを右へ回転させてください。



水栓の取付け（メタルホース付シングルレバー混合水栓）4

■取付け順に従って確実に取付けてください。
■この水栓はブレードホースを必ず使用して取付けます。
■取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水漏れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。

（2）水栓本体の取付け

・ 水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時、出来るだけ直管部分が長くなるようにしてください。また給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。（図1）

（3）ブレードホースの取付け

・ ブレードホースの取付けは、前項の「水栓の取付け（シングルレバー混合水栓）2」の「ブレードホースの取付け」を参照してください。

（4）メタルホースの取付け

1 メタルホースをＬ字パイプと本体の中に通した後、吐水ヘッドと接続します。（図2）
2 メタルホース接続パイプの先端から約 **15mm** の位置にマーキングをしてください。（図3）
メタルホース接続パイプを先ほどマーキングした 15mm の位置までメタルホースにしっかりと押しつけ、メタルホースを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。この時、パイプ部がねじれないように締め付けてください。
3 おもりは、吐水ヘッドの納まりを良くするためと、引出した時のストッパーの役目をします。黄色テープの位置にしっかりと取付け、吐水ヘッドをいっぱいに引出した状態でメタルホースにゆとりがない時は、おもりの位置を適当にずらしてください。（図4）

図1

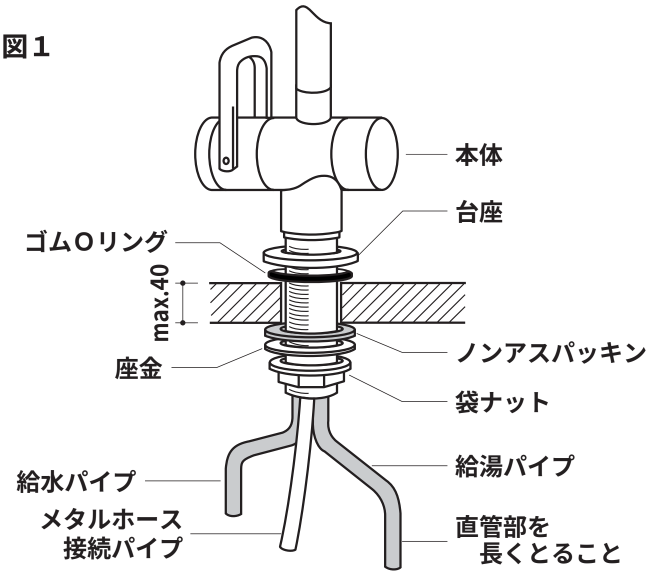


図2

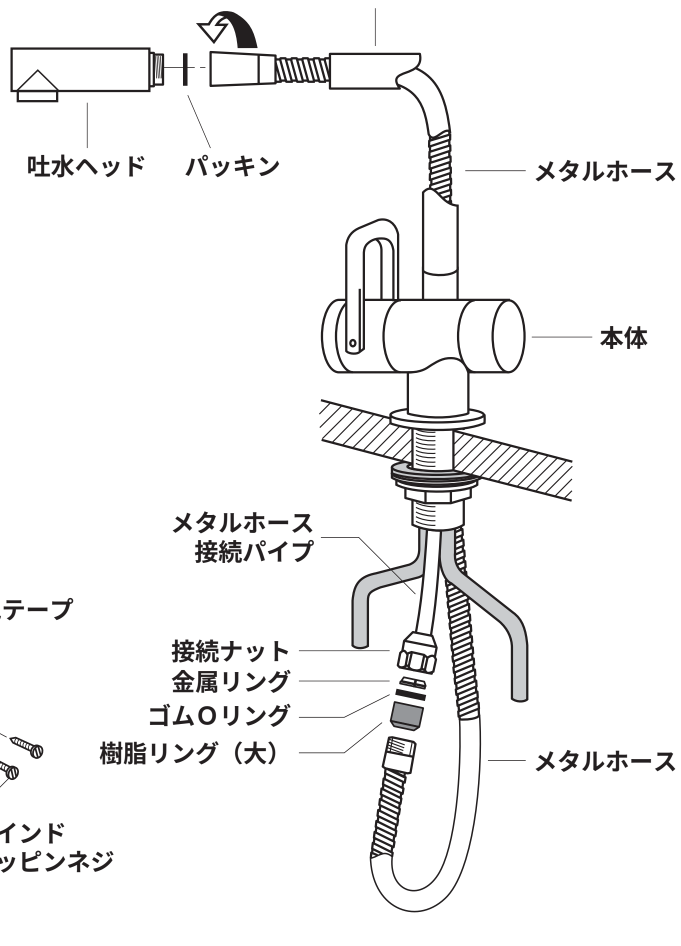


図3

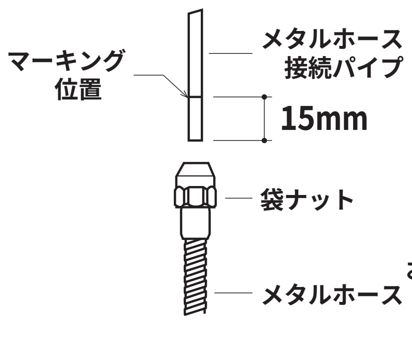
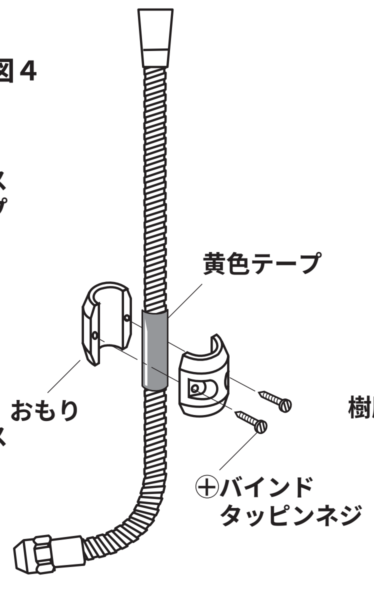


図4

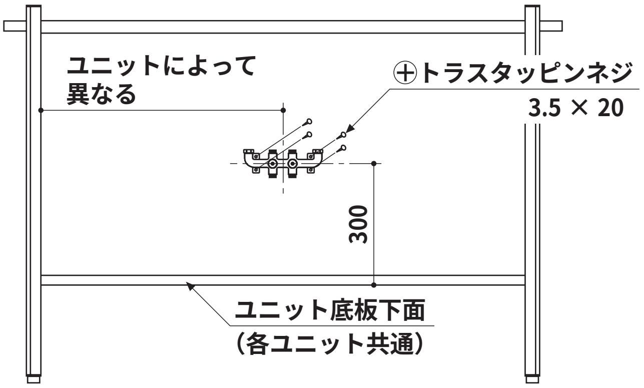


注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、<u>給水・給湯パイプとブレードホースの接続部分（袋ナット）が確実に締まっているか確認してください。</u>また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。
水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になる可能性があります。

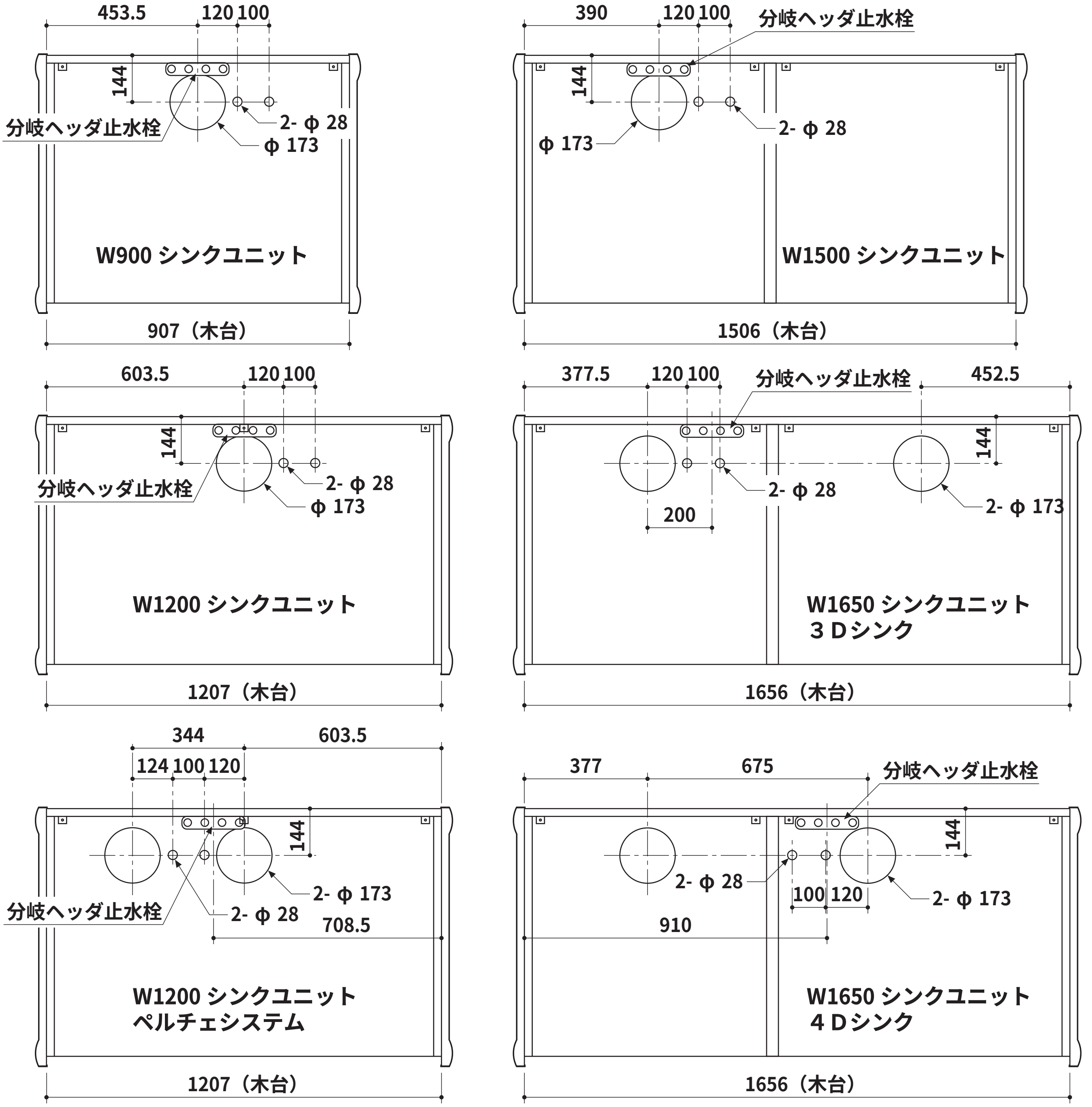
分岐ヘッダ止水栓の取付け

・分岐ヘッダ止水栓をシンクユニット背板の指定位置に⊕トラスタッピンネジ 3.5 × 20 にて取付けます。
　位置は、ユニットによって異なりますので、下図を参照してください。

正面図

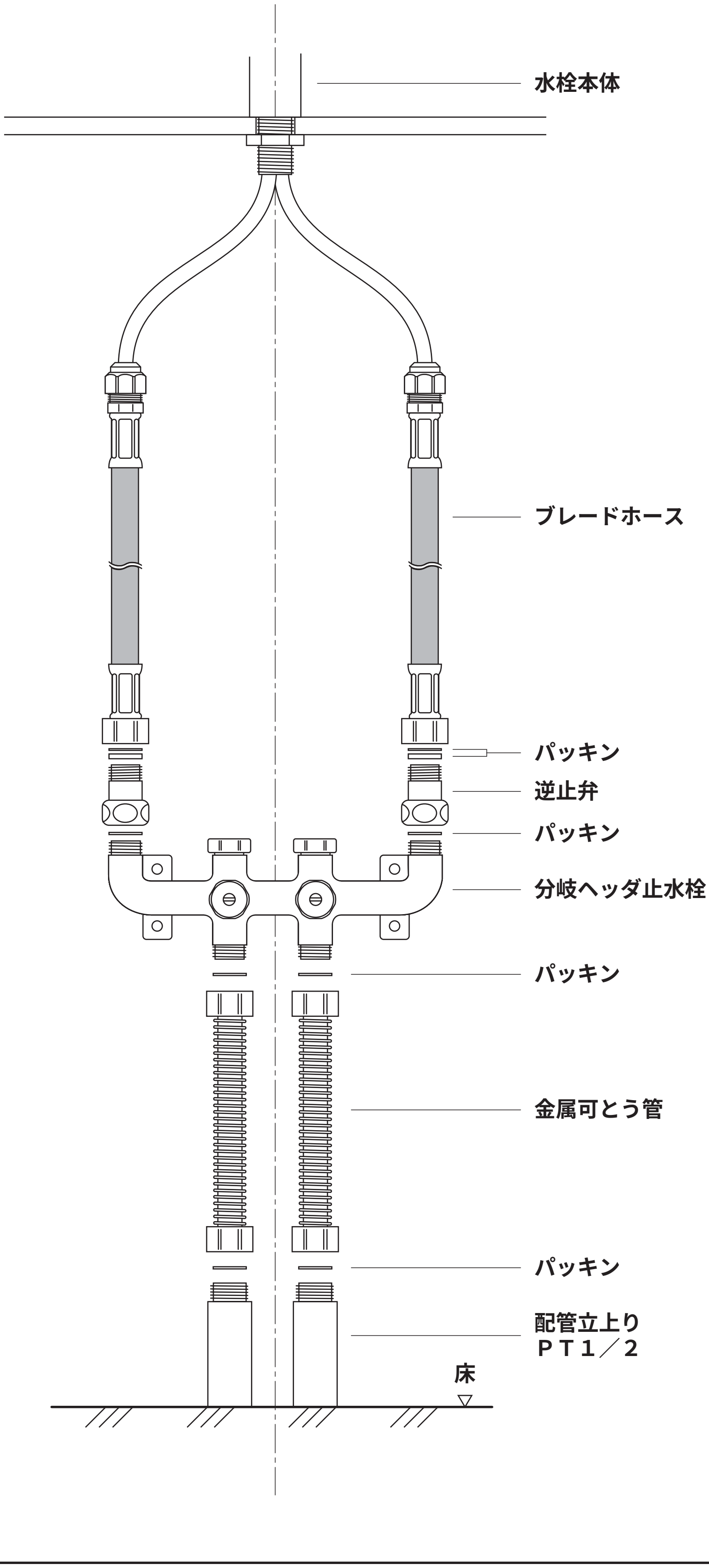


上面図（断面図）



水栓配管例

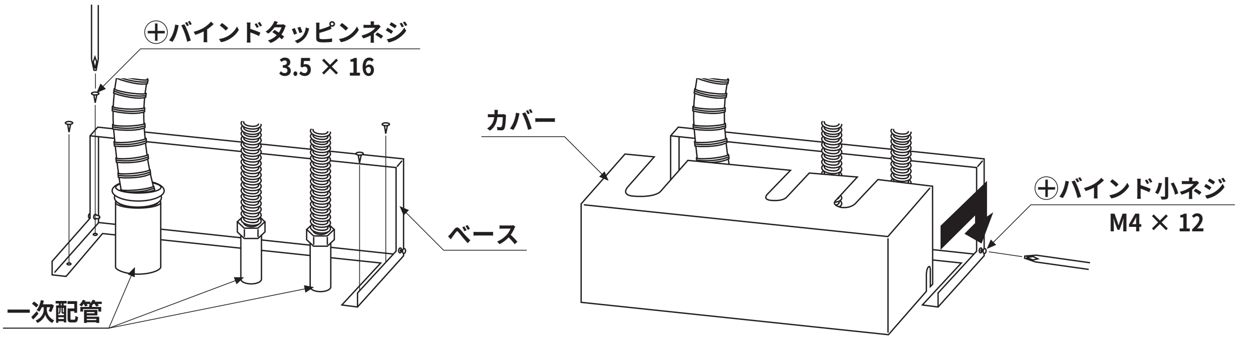
シングルレバー混合水栓（A89532S）
メタルホース付シングルレバー混合水栓（A89673S）



配管ボックスの取付け

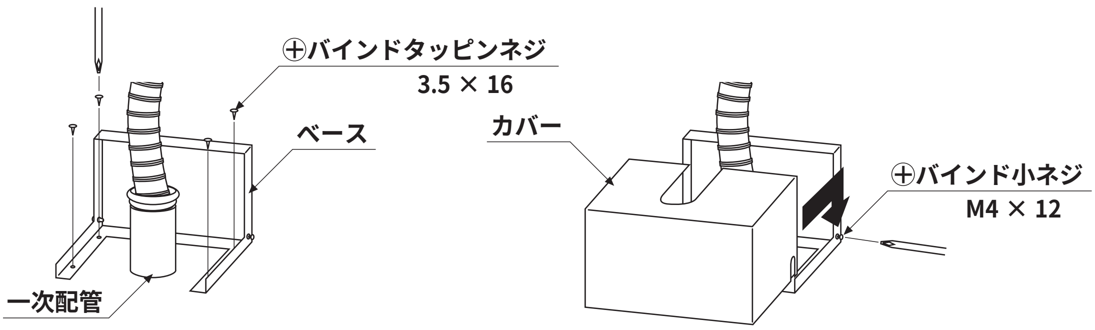
1　排水・給湯・給水の場合

・一次配管が指定の位置に配管されているか確認してください。
・配管ボックスのベースを一次配管の位置に合わせ、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて固定してください。
・排水・給水・給湯配管を床に立ち上げてある一次配管と接続します。
・カバーの切り欠きに配管を合わせ、ベースの両横に付いている⊕バインド小ネジ M4 × 12 にカバーサイドの切り欠きを合わせながらカバーをかぶせ、両横の⊕バインド小ネジを締めつけて固定します。



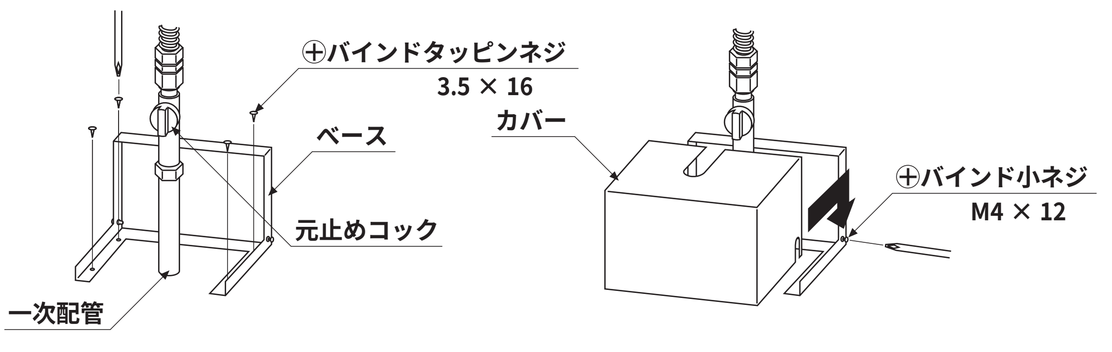
2　排水単独の場合

・一次配管が指定の位置に配管されているか確認してください。
・配管ボックスのベースを一次配管の位置に合わせ、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて固定してください。
・排水ホースを床に立ち上げてある一次配管と接続します。
・カバーの切り欠きに配管を合わせ、ベースの両横に付いている⊕バインド小ネジ M4 × 12 にカバーサイドの切り欠きを合わせながらカバーをかぶせ、両横の⊕バインド小ネジを締めつけて固定します。



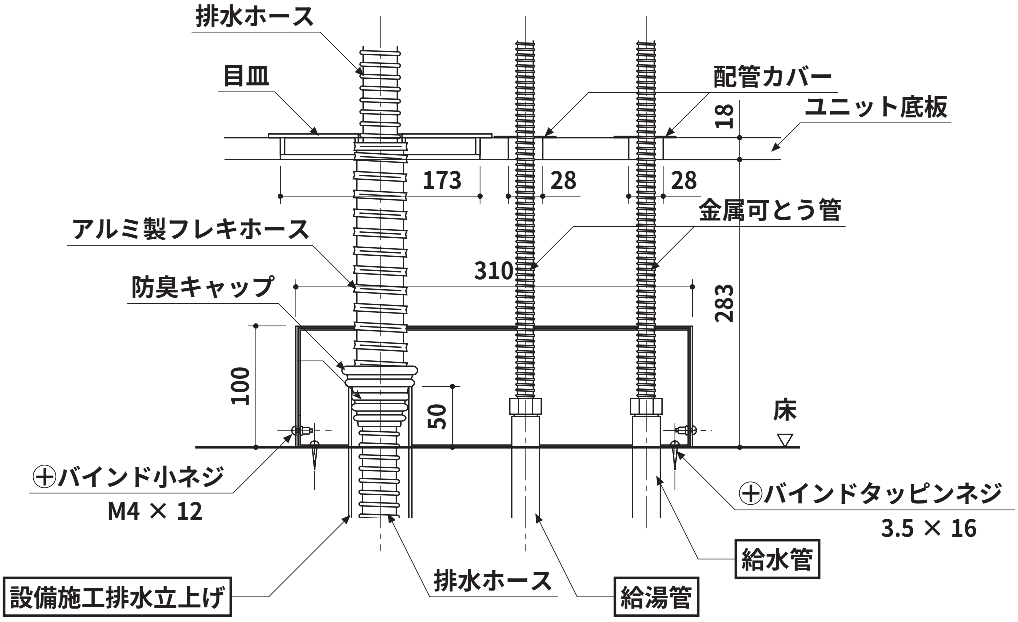
3　ガス配管単独の場合

・一次配管が指定の位置に配管されているか確認してください。
・配管ボックスのベースを一次配管の位置に合わせ、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて固定してください。
・元止めコックを床に立ち上げてある一次配管と接続します。
　この場合、元止めコックが配管カバーより上に出るように接続してください。
・カバーの切り欠きに配管を合わせ、ベースの両横に付いている⊕バインド小ネジ M4 × 12 にカバーサイドの切り欠きを合わせながらカバーをかぶせ、両横の⊕バインド小ネジを締めつけて固定します。

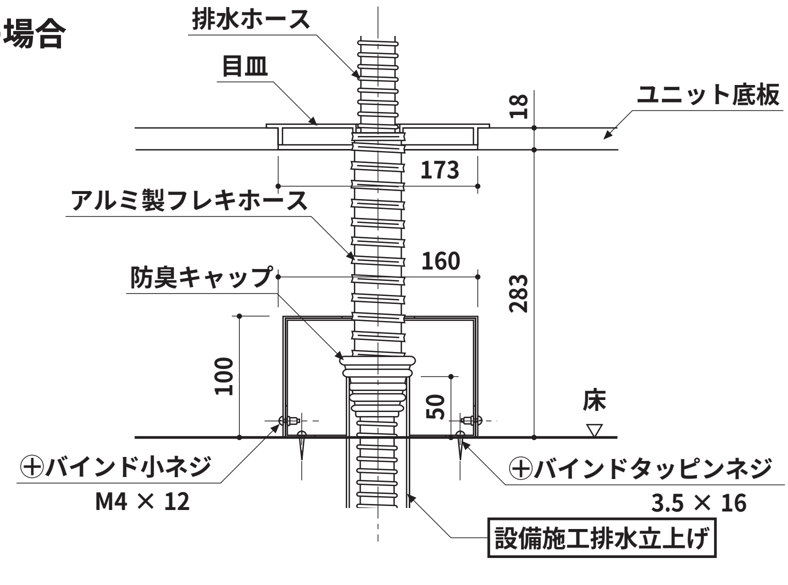


各種配管と配管ボックスの納まり詳細図

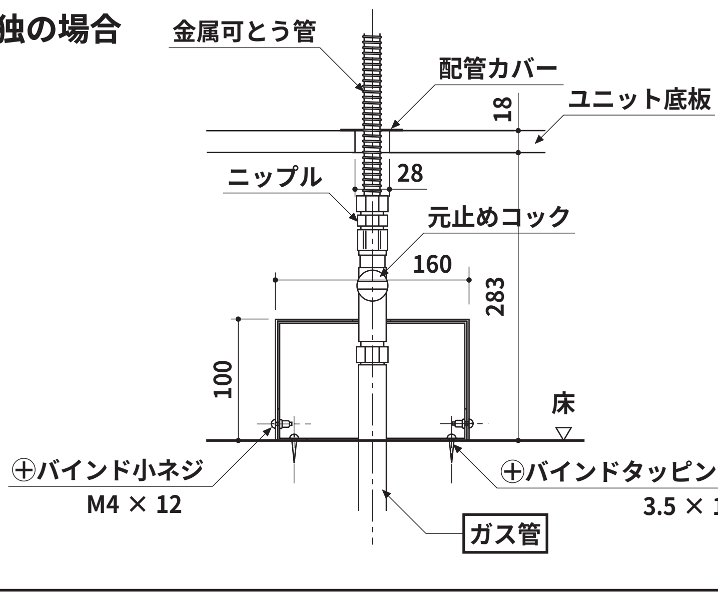
1　排水・給湯・給水の場合



2　排水単独の場合

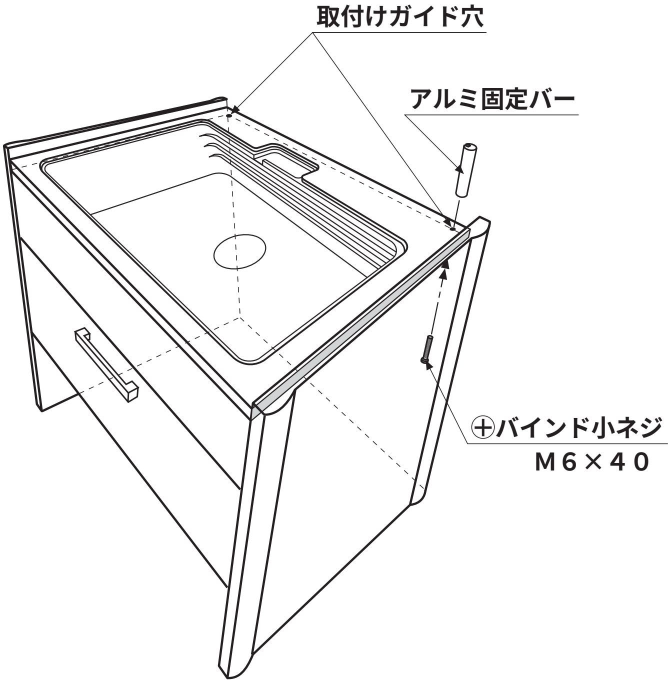


3　ガス配管単独の場合

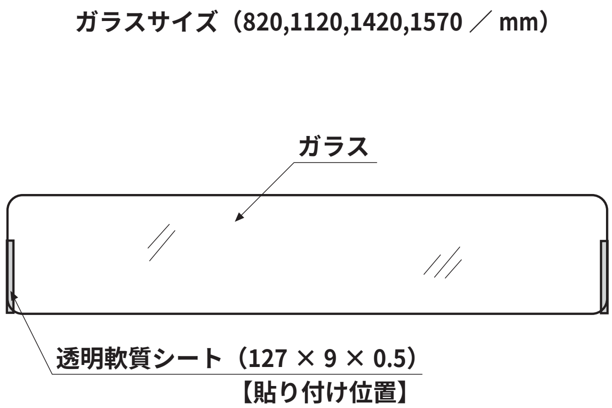


ガラスバックガードの取付け

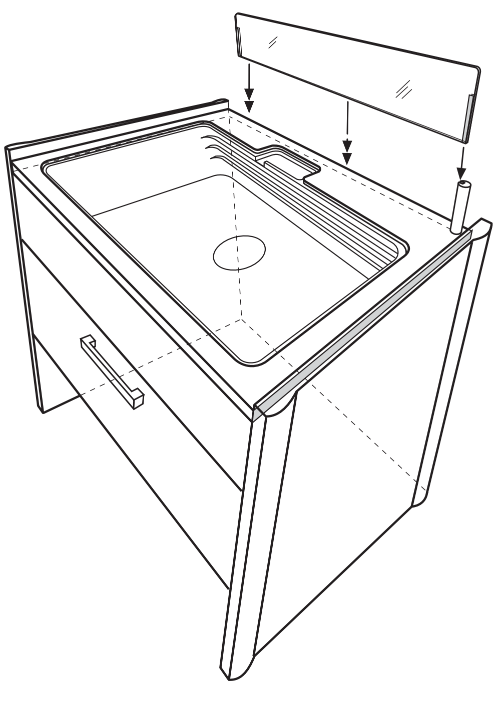
1　左右どちらか一方のアルミ固定バーを、ユニット内部から天板の指定位置（取付けガイド穴位置）に、⊕バインド小ネジＭ６×４０にて固定します。



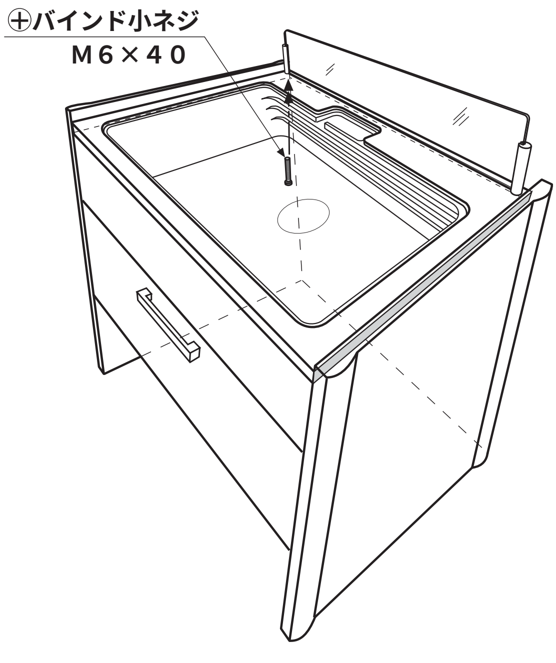
2　ガラスの両端両面の指定位置に透明の軟質シートを接着なしで、合わせて貼り付けます。（ガラスが差し込みできない場合は、軟質シートを一枚にしてください。）



3　１で取付けたアルミ固定バーの溝部分に、軟質シートを貼ったガラスを水平に差し込みます。



4　もう片方のアルミ固定バーをガラスに差し込み、ユニット内部から天板の指定位置（取付けガイド穴位置）に、⊕バインド小ネジＭ６×４０にて固定します。

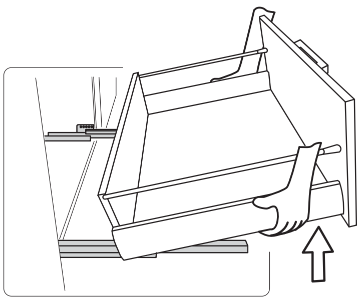


引出しの取り外し、取付け

取り外し方

・　引出しを全部引出して、持ち上げて取り外してください。

※　**取り外す際には、把手を持たないでください。**
　　破損する恐れがあります。



取付け方

1　外側レールを全部引出してください。（図１）
2　外側レールの上に衝撃を与えないようにゆっくりと引出し本体を乗せてください。（図２）
3　引出しを両手で、奥へ押し込んで外側レールに固定します。（図３）
4　引出しを手前にいっぱい引出し、外側レールが引出し本体に取付いているか確認してください。
　　もし、不十分な場合は、外側レールをパチン！という音がするまで指で押し込んでください。（図４）

図1

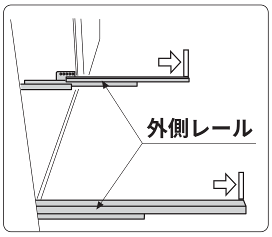


図2

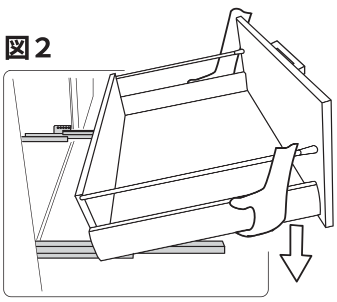


図 3

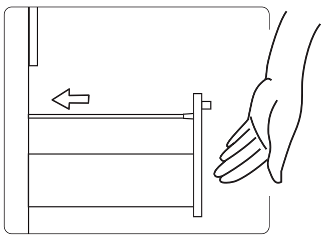
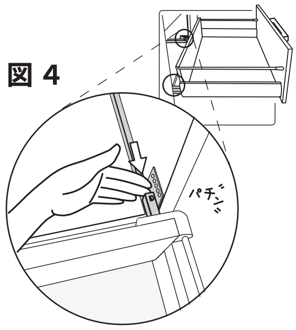


図 4



液晶シャッター／引出しの取り外し、取付け

取り外し方

1　引出しを全部引出し、引出し背板の配線（Ａ部）を確認してください。（図１）
2　ＰＣ接続端子２ヶ所を引き外し、配線押さえを２ヶ所取り外してください。（図２）
3　引出しをユニットから取り外してください。

図１

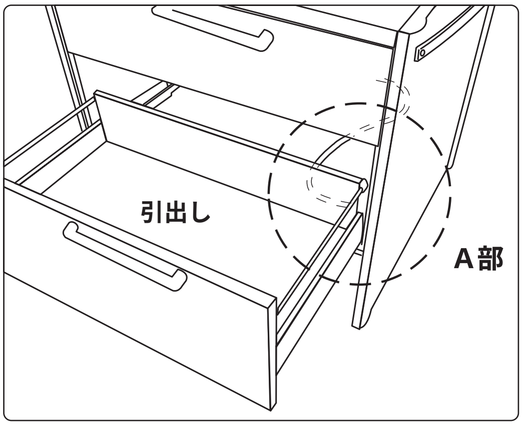
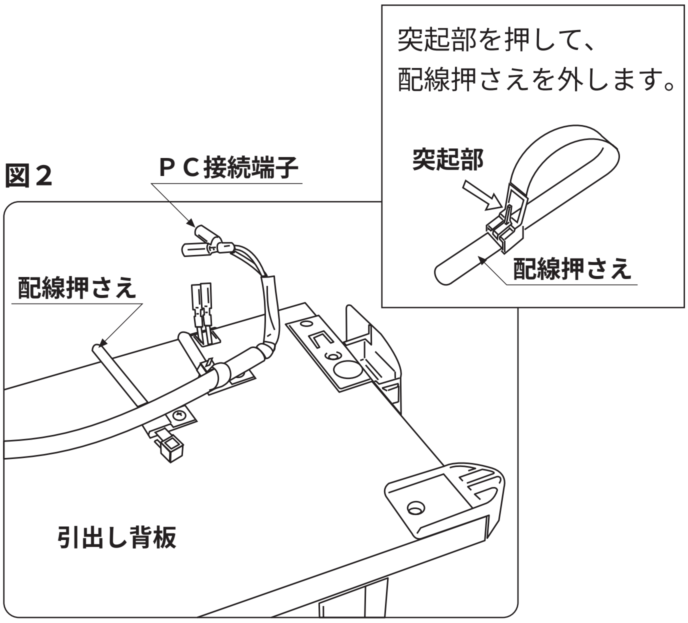


図２



取付け方

1　ケーブルを図１のように渦巻き状に曲げ、引出し固定部に配線を合わせます。（図１）
2　配線押さえ座に合わせた配線を配線押さえで締めつけ、固定します。（図２）
3　ＰＣ接続端子を接続します。（図２）
4　引出しをユニットに取付けます。

図１

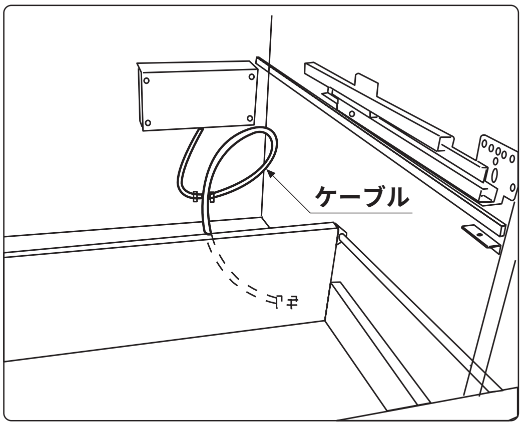
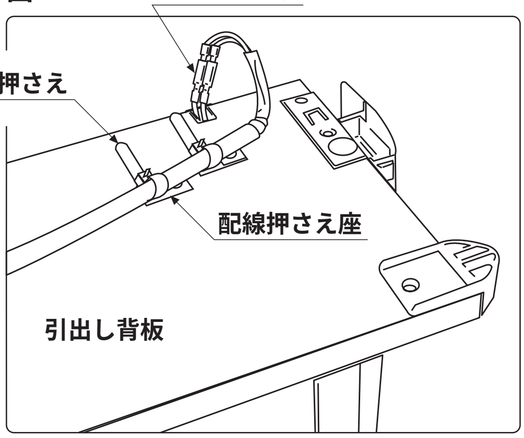


図２



液晶シャッター／配線工事

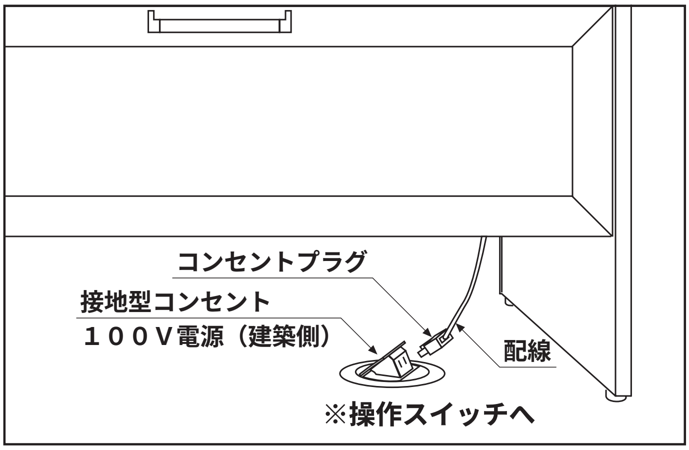
> **警告**
>
> **配線工事は関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。**
>
> 従わないと、不備により火災等の原因になります。

操作スイッチ

・１００Ｖの電源を使用します。
・液晶シャッター専用の操作スイッチを部屋の壁に設け、操作スイッチとユニットを電線で接続してください。
・１つの操作スイッチで全てのユニットに対応（ＯＮ⇔ＯＦＦ）することをお奨めします。

ユニットと電源の接続

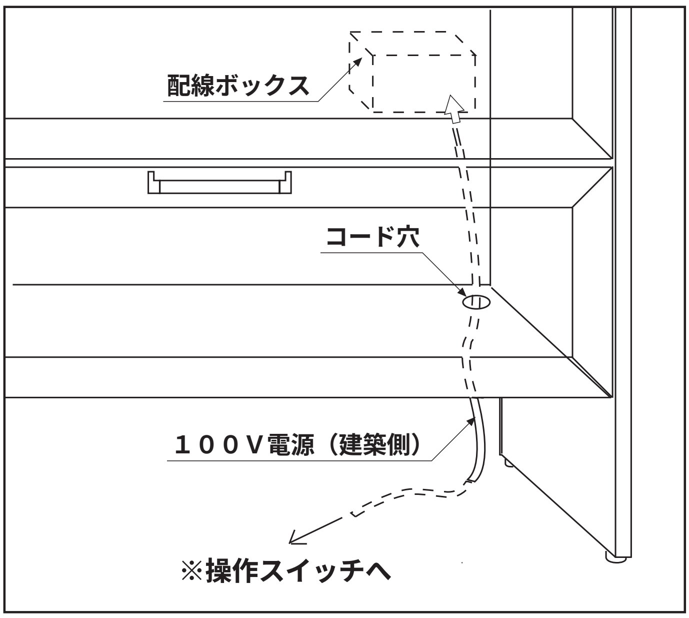
●ユニット配線（ＶＦＦ１．２５平形コード）を使用する場合



・事前にユニットの設置場所の床面に、接地型コンセントを設けてください。
接地型コンセントの位置は、ユニット底板のコード穴の真下が理想です。

・ユニット配線をコンセントプラグに接続し、接地型コンセントに差し込んでください。

●建築側電源を直結する場合



・事前にユニットの設置場所の床面に、建築側電源を引出してください。引出し位置はユニット底板のコード穴の真下が理想です。

・引出しを取り外し、背板に取付けてある配線ボックスを開け、端子台からユニット配線を取り外し、コード穴から抜き取ってください。

・建築側電源を底板のコード穴に通し、ユニット内に引き込み、配線ボックスの端子台に接続してください。

・配線ボックスを閉じて、引出しを取付けてください。

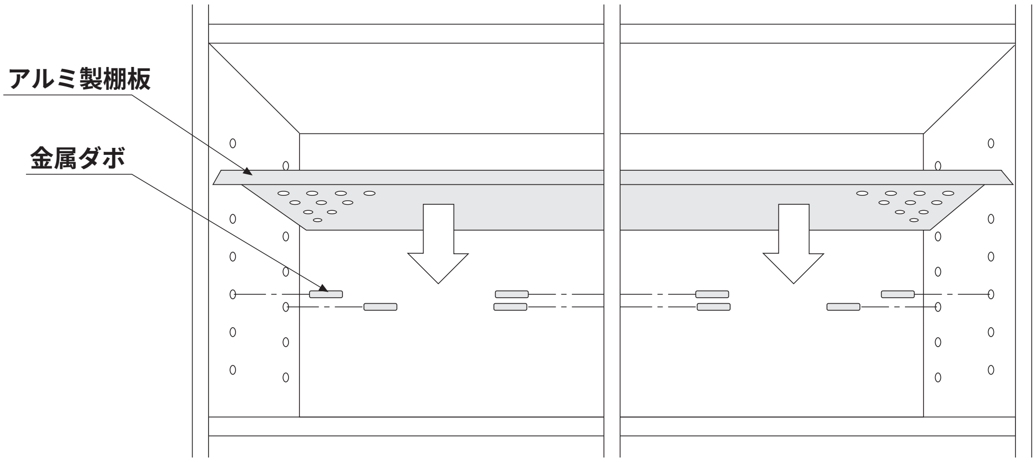
※引出しの取り外し、取付け方は１４～１５ページを参照してください。

アルミ製棚板の取付け

・側板の任意の穴位置に金属ダボを差し込んでください。
　取付け詳細は下図のようにしてください。

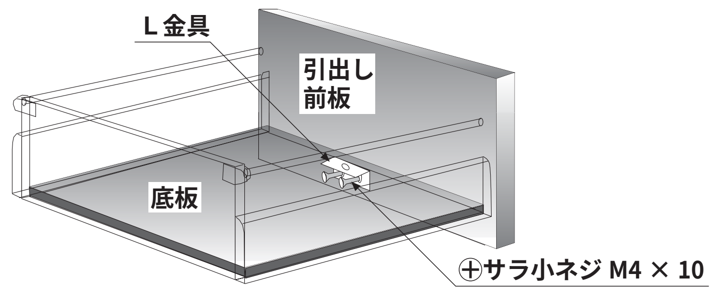
・アルミ製棚板を金属ダボに乗せてください。

・アルミ製棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



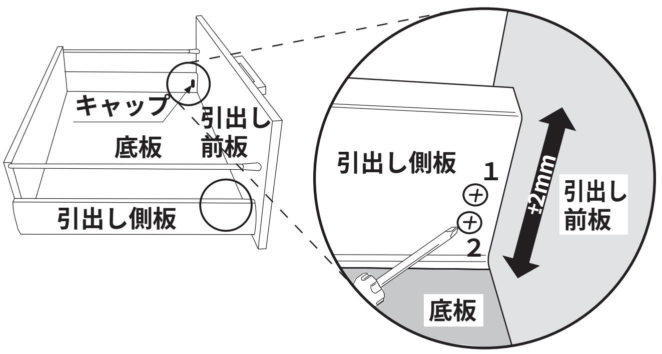
引出し前板の調整

・引出し前板の調整を行う前に、底板裏面についているＬ金具の引出し前板側の取付ネジ（⊕サラ小ネジ M4 × 10）をゆるめておきます。
※全ての調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定してください。



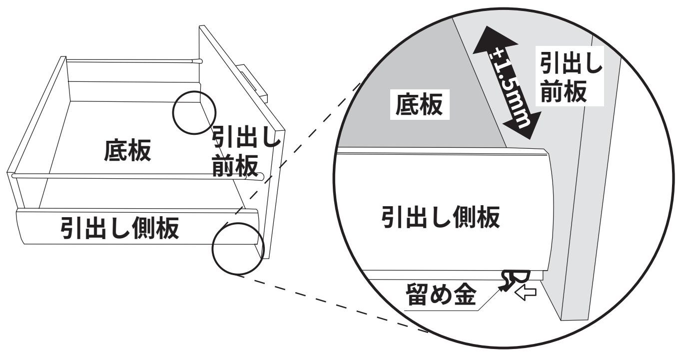
●上下方向の調整

・引出し側板左右内側についた楕円形のキャップ（樹脂製）をマイナスドライバー等で、外してください。
・下図のように１のネジを軽くゆるめ、２のネジによって引出し前板の上下方向を調整します。



●左右方向の調整

・引出し側板底面の留め金（両サイド２ヶ所）を軽く押して解除しながら引出し前板の左右方向を調整します。

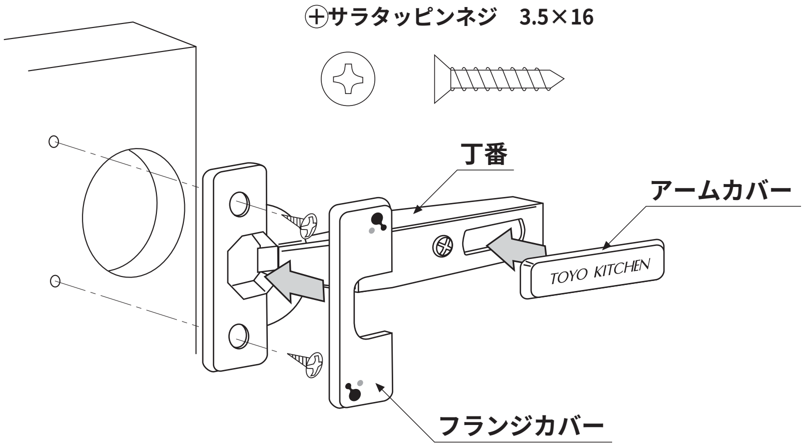


注意）留め金を押さえて引出し前板を持ち上げると、引出し前板が外れますのでご注意ください。

丁番の取付けと着脱

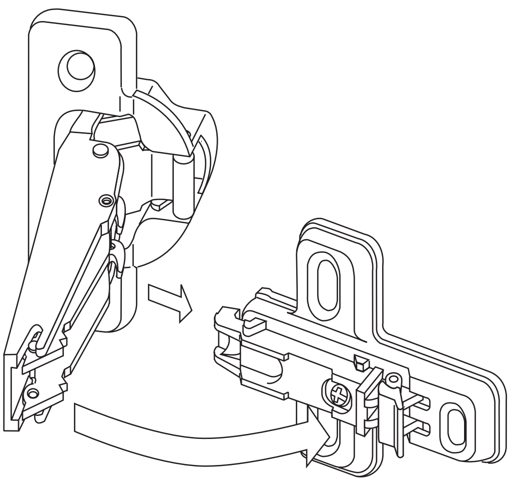
■丁番の取付け

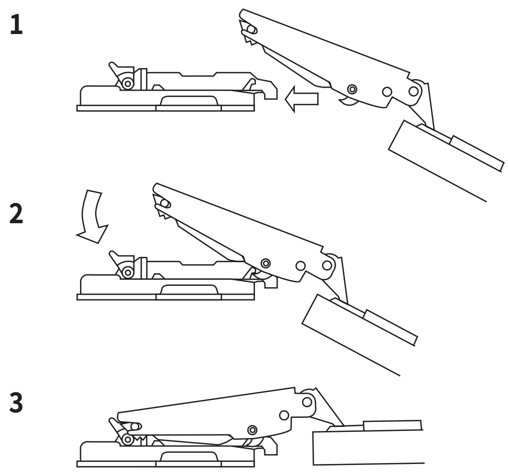
・丁番本体を扉、フサギ板の下穴に合わせ、⊕サラタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。
・丁番を取付けた後、アームカバーとフランジカバーを取付けてください。



■丁番の着脱

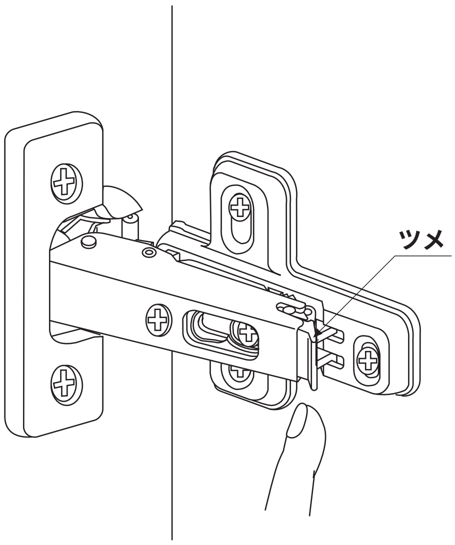
取付け方

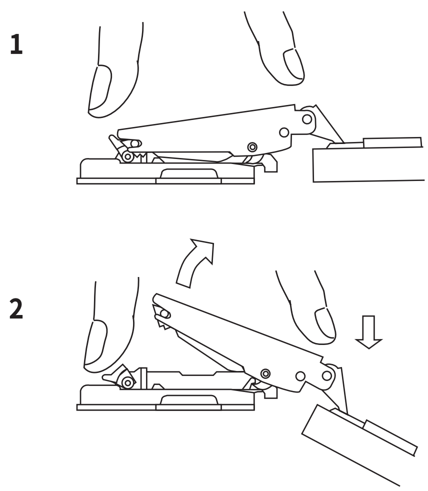




・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。

外し方

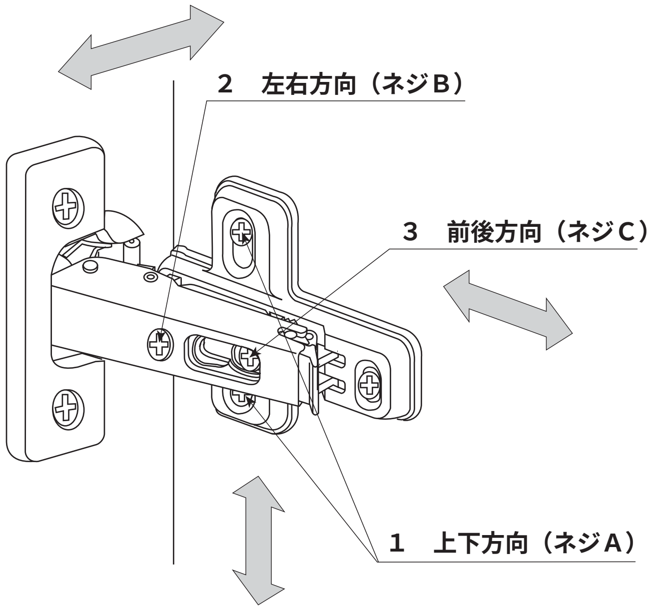




・丁番を外す場合は本体後部にある「ツメ」を押してください。

扉（丁番）の調整

■調整方法



※調整は、トルク９kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。（１８ページ、「丁番の取付け」参照）

※調整を行う場合、１上下方向　２左右方向　３前後方向の順番で行ってください。

１　上下方向

・座金のネジＡをゆるめ、上下の位置を定め、固定します。

２　左右方向

・ネジＢで調整します。

３　前後方向

※前後方向は基本的には動かしません。

ウォールオーブンレンジ【Ｂ－４１００－１－Ｍ】の取付け

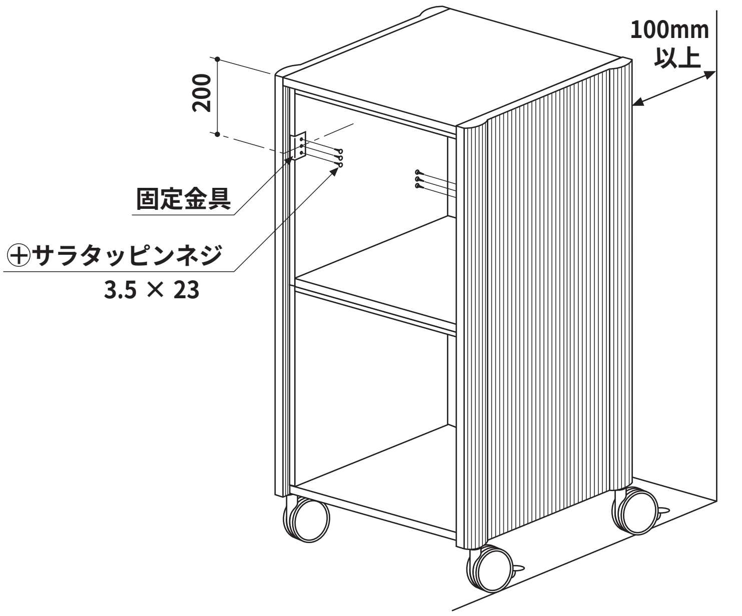
1　機器に別梱包で付属している部品の確認をしてください。

●付属品

・固定金具 (Ｌ金具　サイズ 23 × 30 × 50)　2 個
・⊕サラタッピンネジ　3.5 × 23　6 本
・⊕バインドタッピンネジ　3.5 × 23　2 本

2　固定金具をユニットの両サイドの木口に⊕サラタッピンネジ 3.5 × 23 にて指定位置に取付けてください。

3　固定金具に機器取付け用下穴φ 3 を各１ヶ所開けてください。
穴開け位置は、機器本体を取付けて、機器本体の固定穴から固定金具に印を付けて位置を決めてください。



※　ユニットを据付ける際は、ユニット背面から壁まで１００ mm 以上離してください。
ウォールオーブンレンジを使用中に、背面より熱が逃げます。

電源電線の固定方法

・加熱機器の電源をコンセントに接続した場合、ユニット内で電源電線を固定してください。

背板に電源電線を固定する場合

・配線押さえ座を⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 にて、2・3ヶ所固定し、配線押さえにて電源電線を固定してください。(図１)
※電源電線が長い場合は、図１のように輪を作って固定してください。

底板に電源電線を固定する場合

・ケーブルストッパーに電源電線をはさみ、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて固定してください。(図２)

図１

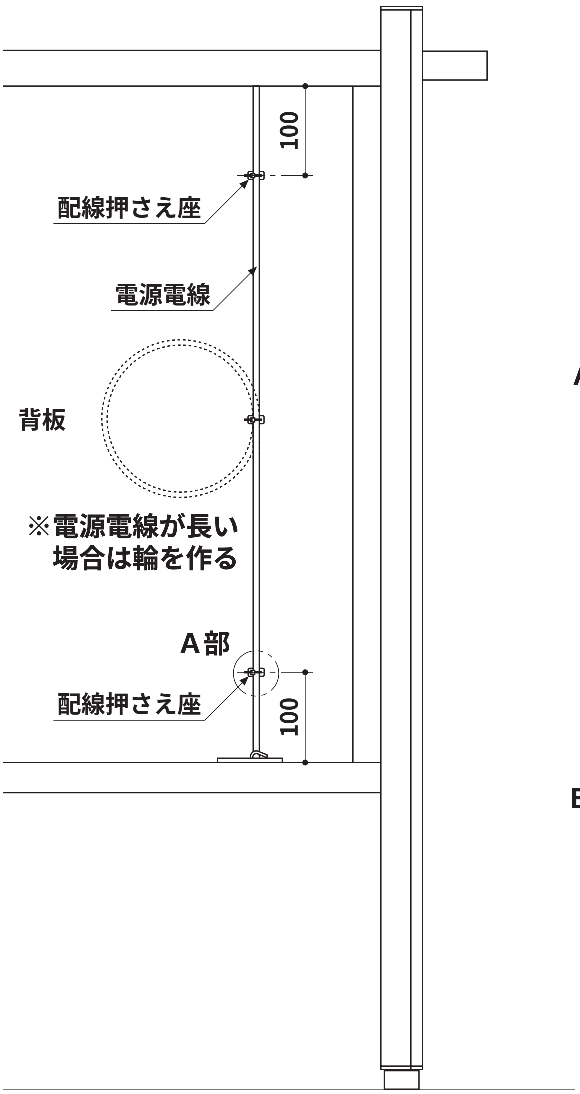
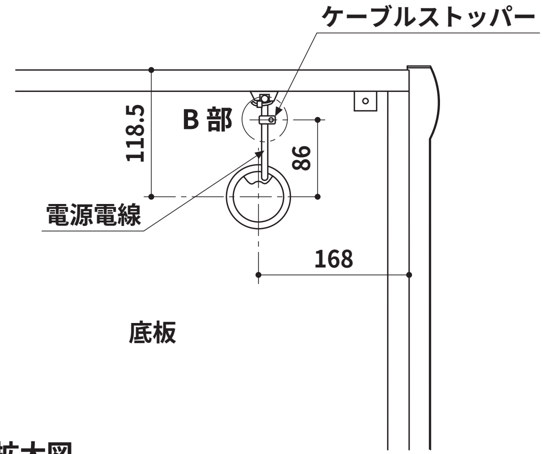
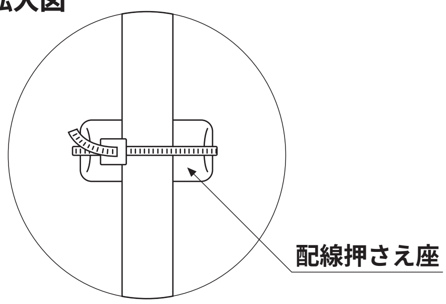


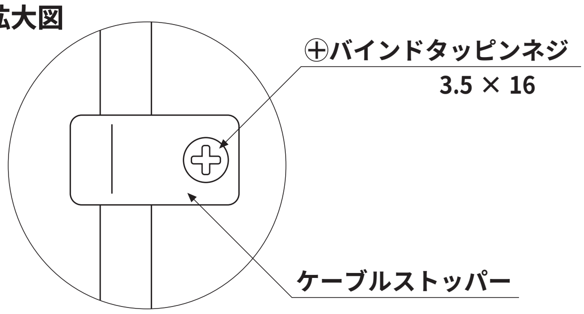
図２



A 部拡大図



B 部拡大図



据付け後の点検・清掃・養生

・「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
・表面の汚れ、ホコリを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
・シンク・ガス機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

●ペルチェシステム、液晶シャッターの試運転

・ペルチェシステム、液晶シャッターのスイッチを入れて、動作するか確認してください。
・試運転が終了した後、ペルチェシステムを長期間使用しない時は、電源を切ってください。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、http://www.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トーヨーキッチン&リビング株式会社
〒501-3295　岐阜県関市下有知6315-1
電話　0575（22）1234（代）

TOYO KITCHEN

P9WP-TRS101
03.3